

第10回 DAAS運営委員会 議事要旨

(1)日時： 2009年6月26日(金) 午後2時～4時

(2)場所： 財団法人ベターリビング 1階 BL101会議室

(3)出席者：

委員長：三塩(日本設計)

副委員長：南(慶應義塾大学)

委員：早川(日建設計)、安生暁(日建設計)、有馬(積水ハウス)、真木(建築学会)、竺(金沢工業大学)、鈴木(日本建築士会連合会)、早川(日本建築士会連合会)、柴田(日本建築センター)、本多(山下設計)、兼松(JIA)

事務局：高見(国土交通省国土技術政策総合研究所)、井出(住宅・建築・都市政策支援集団)、桐原(BL)、武藤

財団法人ベターリビング：清水・伊藤

国土交通省：宿本(住宅局建築指導課企画専門官)

(4)配布資料：

資料1 優良な建築物の記録作成事業

資料2-1 DAAS 事務局契約について

-2 DAAS 運営全体イメージ

-3 DAAS 事務局 業務委託(案)

-4 事務局名簿

資料3-1 2008 年度住宅・建築物の表彰事業における過去の記録の整理

資料4-1 DAAS ビデオ企画案

-2 DAAS ビデオ企画 次年度対象者パースペクティブ

-3 ビデオ装丁(案)

資料5-1 DAAS の活動 4 つの骨子(エスエス写真様との共同作業をめざして)

-2 著作権についての整理

資料6 DAAS デジタル卒業設計大賞 2009 募集要項

資料7 DAAS 趣旨説明書

回覧資料：

資料3 平成20年度補助事業報告書(抜粋)

図面補正資料

(5)議事

■審議事項

[議案1 2009年補助金事業についての件]

- 2009 年度の国交省補助金にかかる受託事業に関し、事務局から説明があり、受託する方針が了承された。

[議案2 事務局委託先変更についての件]

- DAAS 第3期後半の事務局委託先をNPO 住宅・建築・都市政策支援集団事務局(千代田区富士見 2-14-36 FUJIMI WEST)としていたが、事務(経理・総務等)支援・サポートの強化を目的として、財団法人 ベターリビング(同住所)に変更する説明が、事務局からなされ、了承された。

■ 報告事項

[2008年度補助金事業報告]

- ・ 2008年3月末までに士会連合会の委託を受けて実施した「優良住宅・建築物記録の作成」の作業成果について、表彰作品リスト、メタデータ整理、写真補正作業報告、試行的に実施した建築図面スキャニング資料等により、事務局より報告がされた。
- ・ 図面のスキャニング補正の試行については、図面の保全手法の検討を行うとともに、会員に対しDAASのデジタル化技術を提供するサービスにつながるトライアルとなった旨の報告がされた。

[ビデオWGの進捗報告]

- ・ WGから、本年度撮影対象者を 池田武邦氏・内田祥哉氏の2名を人選し、準備を進めていることについて中間報告があった。また、事務局から、配布用ビデオの装丁の作業報告がされた。
- ・ この報告に関し以下の発言があった。
(兼松) 林先生についてはどのようになっているだろうか。
(事務局) 今のところ保留となったままである。
(兼松) 宮本忠長氏、楨文彦氏、菊竹清訓氏なども記録すべきではないか。
(事務局) ビデオは、貴重な声を記録し情報量も多く、アクセスの多い貴重なコンテンツであり、事業費が増額できれば多く撮影していきたいと思っているが、現時点では予算が限られている。提案いただいた人も含め、今後、WGや運営委員会でご相談したい。今期は、ラージファームとハウスメーカーから撮影者の推薦をして頂いたが、来期は、不動産系・ゼネコン系の会員の方にもWGにご参加頂き、撮影対象者を推薦頂きたいとも考えている。

[収蔵事業活動の報告]

- ・ 事務局から、SS東京社に対し、SS社が保有している写真を、DAASに収蔵する協力を得るための打合せを継続している状況について報告がされた。
- ・ この報告に関し、以下の発言があった。
(兼松) 他の建築関係の雑誌社にも写真提供の問い合わせをしてはどうか。
(事務局) 前に調べたが、雑誌社では自社で写真を保有しているものではなく、外部の写真家に依頼しているというところが多かったので、現時点で、提供の依頼をすることは考えていない。

[デジタル卒業設計大賞 2009 について]

- ・ 事務局から、デジタル卒業設計大賞 2009 を 7 月より応募を開始することについて、また、選考委員を難波和彦氏に決定した旨の報告がされた。

[建築学会設備小委員会インタビュー対応]

- ・ 事務局から、歴史的建築リスト整備活用小委員会よりDAAS活動の紹介のインタビュー対応をした旨の報告を行った。

[会費請求について]

- ・ 事務局から、DAAS第4期(2009-2010)の会費請求案内を8月下旬に送付する予定であることについての報告がされた。併せて2011年UIAに大会に向けて、継続的な活動支援と協力を求めた。

・この報告に関し、以下のような発言があった。

(兼松) 2001年のUIA大会については、具体的な企画はあるか？

(事務局) 基本的には表彰案件のデジタル収蔵データを活用した展示などのイメージがある。

(兼松) UIA大会については様々な企画は展開しつつあると思うが、UIA事務局との具体的な打合せは進めているだろうか。

(事務局) 現在は具体的打合せをしていないが、事業の見通しがついたのでUIA事務局にアプローチしどのような提案をするかまた、どのような連携が出来るか検討し、打合せをしたいと思っている。

(運営委員長) UIA大会については、創立期5期にも重なるということで、活動成果をまとめるターゲットイヤーとしているが、その後も活動を継続する必要があるので、一つの通過点として考えることが望ましい。DAASの企画は、UIAのイベントの一つとするというよりは、UIAに合わせDAASとして実施するというのが本意である。一方、UIAでは沢山の資料が集まると予想されるので、そういった資料についてイベント終了後も永続性を持たせるために、UIAの委託を受けて、DAASの技術等を使って記録するというようなアプローチも考えられる。

[DAAS事業趣旨]

- ・事務局から、DAAS活動紹介パンフレットの改定案について説明をした。

[その他]

- ・国交省建築指導課の宿本専門官から、DAASの活動に対する、国交省の支援等の窓口を担当する旨の発言があった。併せて、国交省関連団体である、BL、建築センター、建築技術教育普及センターが、DAAS活動をサポートしていくことについて調整している旨の説明があった。